

# 地域との連携・協働による 新しい高等学校づくり

全国高等学校教育改革研究協議会

# 岡山県における高校と地域との連携・協働

- 高校における地域学
- おかやま創生 高校パワーアップ事業
- 高等学校魅力化推進事業【リージョナルモデル】
- 地域との協働による高等学校教育改革推進事業  
【地域魅力化型】  
【グローバル型】

# 高校における地域学

## ～地域学～

各学校が実態に応じて、「総合的な学習（探究）の時間」「学校設定教科・科目」「課題研究」等において、「キャリア教育」「主権者教育」等と関連付け、**地域の課題等を自らの課題として捉え、地域の人と関わりながら、主体的にそれらの解決に取り組む学習。**

岡山県では、平成22年頃から「**学校発**」の「**地域学**」が、教育課程内に位置付けられ始めている。

# 高校における地域学

- 「**やかげ学**」・・・平成22年～

岡山県立矢掛高校（学校設定教科）

- 「**真庭トライ&リポート**」・・・平成22年～

岡山県立真庭高校（総合的な学習の時間）

- 「**マイドリームプロジェクト**」・・・平成24年～

岡山県立林野高校（総合的な学習の時間）

- 「**町衆プロジェクト**」・・・平成25年～

岡山県立倉敷南高校（総合的な学習の時間）

- 「**閑谷學**」・・・平成26年～

岡山県立和気閑谷高校（総合的な学習の時間）

# おかやま創生 高校パワーアップ事業

地域の課題やニーズを踏まえ、おかやま創生を担う人材の育成や地域の活性化に貢献する高校の魅力化を図る。(平成28年度～)

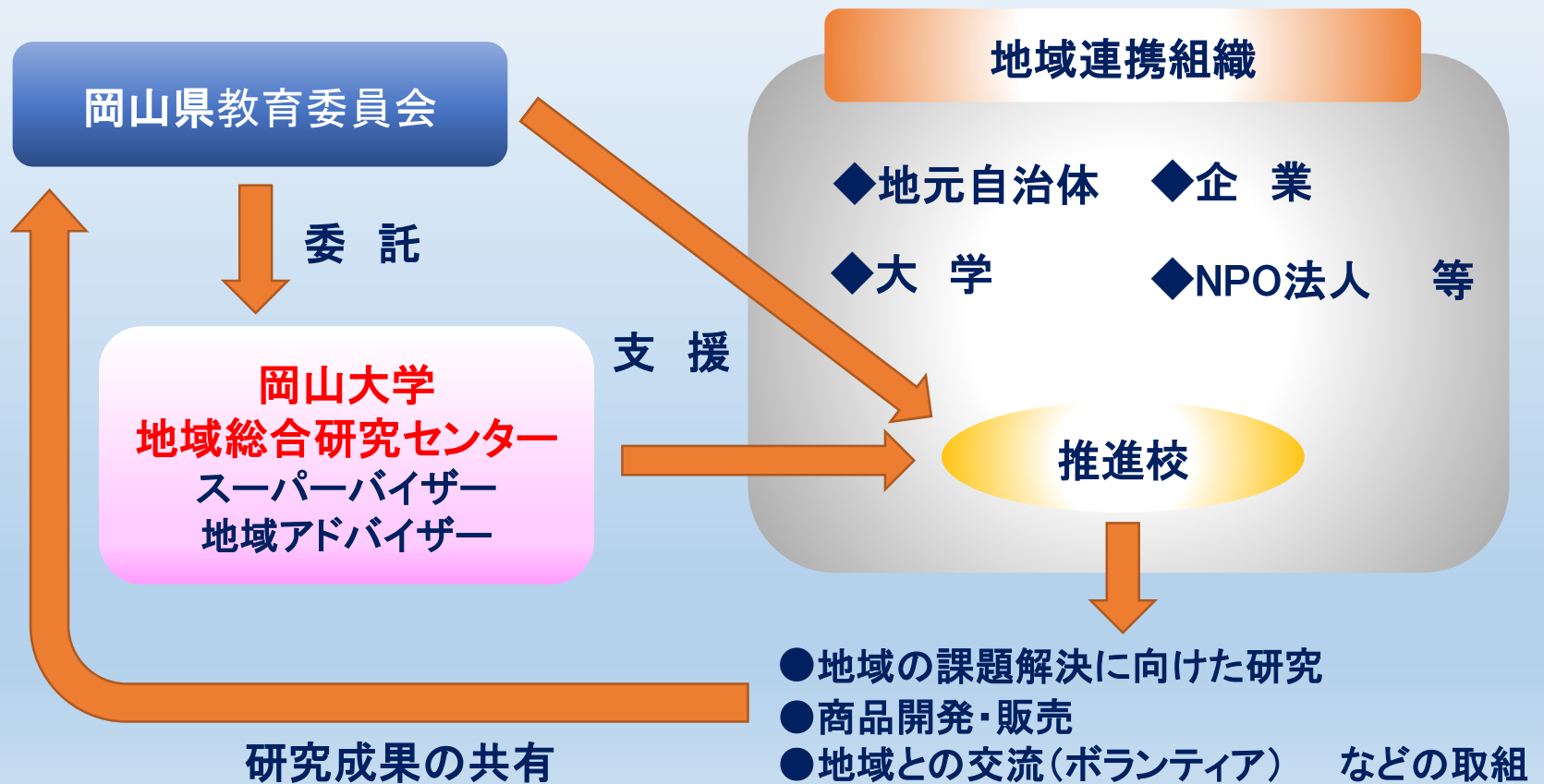
推進校は、**推進校及び地域の関係者等からなる組織(地域連携組織)**を設置し、地域に貢献する人材の育成とともに**地域資源の活用や地域の課題解決**を目指した教育を実施する。

推進校が地域の実態に即した取組を効果的に進めるため、本事業に係る**支援業務**を**岡山大学**地域総合研究センターに委託する。

# おかやま創生 高校パワーアップ事業

おかやま創生を担う人材の育成

高校の魅力化・地域の活性化



# おかやま創生 高校パワーアップ事業

## 第1期（平成28～30年度）

- 瀬戸南…グローバル市場を目指す「攻めの農業経営」人材の育成
- 邑久…地域の魅力と課題を学び、地域の活性化に貢献するリーダーの育成
- 勝山…高校段階から教員を目指す人材の育成
- 真庭…森林資源を活用したまちづくりを担う人材の育成
- 鴨方…産官学連携による環境保全活動を通じた地域貢献人材の育成
- 勝間田…木材資源を活用した地域振興を担う人材の育成

## 第2期（平成30～令和2年度）

- 井原…地方創生に貢献する人材の育成と、地域に求められる学校づくり
- 新見…産学官連携による新見地域の多様な資源を活用した街づくりを担う人材の育成
- 勝山（蒜山校地）…地域と連携した深い学びで郷土愛を育み、地域に貢献する人材の育成
- 林野…若者のU/I/Jターンを促すまちづくりに貢献する人材の育成モデルの研究

# おかやま創生 高校パワーアップ事業

## 【成果】

- ・地域関係者との連携強化とニーズを踏まえた魅力ある教育活動づくり
- ・岡山大学地域総合研究センターによる協力体制
- ・魅力ある学科改編、系列変更等
- ・県内の高校への普及
- ・生徒の肯定的変化

## 【課題】

- ・推進校の生徒募集への反映
- ・還流効果



# 高等学校魅力化推進事業【リージョナルモデル(RM)】

岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(H31.2策定)に基づき、県立高校の魅力化を図る。(1学年3学級規模の学校が対象)

指定校は、指定校及び地元自治体、企業、大学、NPO法人等からなる**地域連携組織**を置き、地域との連携の在り方等を研究し、**教育内容の質の確保・向上**に向けた高校の魅力化を推進する。

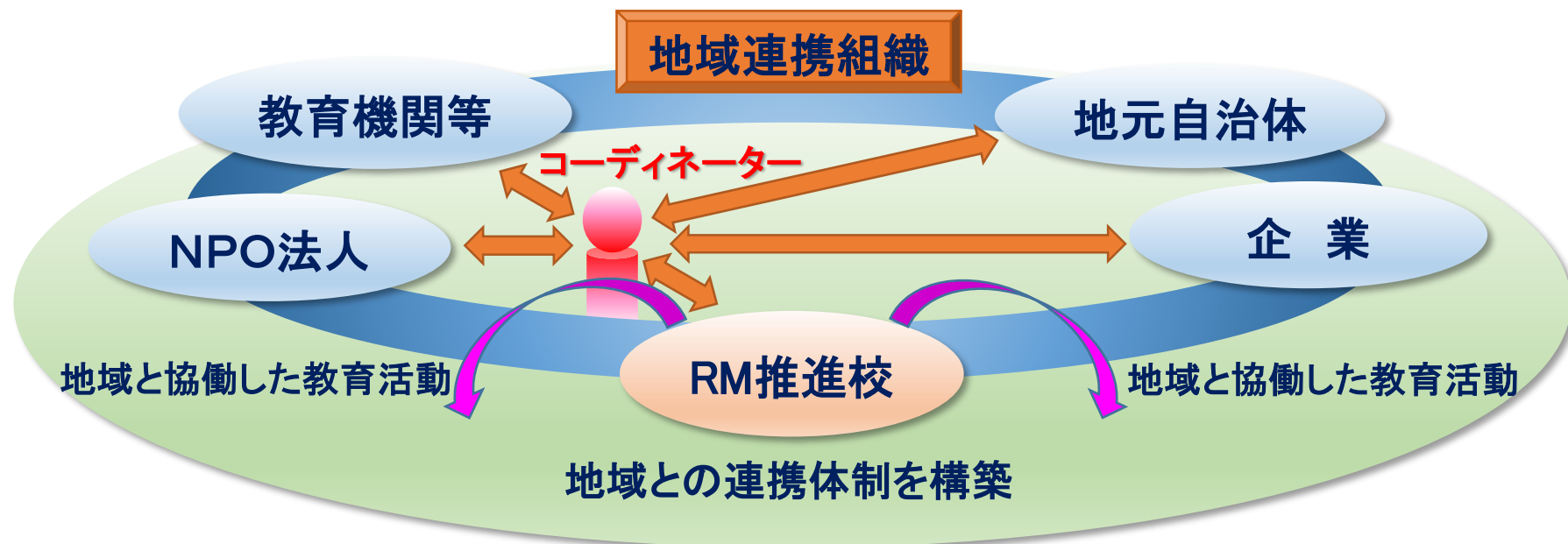
指定校は、**地域協働活動コーディネーター**を置き、**地域と協働した教育活動**を推進する。

# 高等学校魅力化推進事業【リージョナルモデル(RM)】

令和元年度～

教育の質の確保

地域と連携した魅力づくり



笠岡工業高校  
鴨方高校

笠岡商業高校  
和気閑谷高校

高梁城南高校  
矢掛高校

# 高等学校魅力化推進事業【リージョナルモデル(RM)】

- ・笠岡工業…「笠エテクノ工房」を軸とした地域に貢献する「人財」の育成
- ・笠岡商業…地域資源を活かした学びの実践による人材の育成
- ・高梁城南…「城南カフェ」を中心とした地域創生人材の育成
- ・鴨方…産官学連携による地域貢献及び人材の育成
- ・和気閑谷…「恕」の精神を持って地域と協働する探究人の包括的育成
- ・矢掛…町と協働した地域連携組織による人材の育成

# 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することで、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。

## 【地域魅力化型】

地域課題の解決等を通じた学習を各教科・科目や学校設定科目等において体系的に実施するためのカリキュラムを構築し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成。

## 【グローバル型】

グローバルな視点を持ってコミュニティーを支える地域のリーダーを育成。

# 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

## 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

2019年度予算額 251百万円(新規)



公立高等学校

新高等学校学習指導要領を踏まえ、Society5.0を地域から分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、「経済財政運営と改革の基本方針2018」や「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」に基づき、高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することで、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。

### 高校生と地域課題のマッチングを効果的に行うためのコンソーシアムを構築



### 標準スキームを踏まえつつ、地域の実情や人材ニーズに応じた取組を展開

**【プロフェッショナル型】**  
 〈専門学科中心10校程度〉  
 地域の産業界等との連携・協働による実践的な職業教育を推進し、地域に求められる人材を育成

～特徴・取組例～

- ・地域の特産物の付加価値を高め安定的な食料生産により地域の発展を担う人材を育成
- ・ものづくりに関する専門的な技術を身に付け、地場産業を支える人材を育成 など

**【地域魅力化型】**  
 〈普通科中心20校程度〉  
 地域課題の解決等を通じた学習を各教科・科目や学校設定科目等において体系的に実施するためのカリキュラムを構築し、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成

～特徴・取組例～

- ・地域との連携に係る教科横断的な単位を設定
- ・衰退しつつある地域の振興方策を地域との連携により研究・実践 など

**【グローバル型】**  
 〈学科共通20校程度〉  
 グローバルな視点を持ってコミュニティーを支える地域のリーダーを育成。

～特徴・取組例～

- ・グローバルな社会課題研究のカリキュラム研究開発
- ・海外研修等カリキュラムの中に体系的に位置づけ
- ・海外からの留学生を受け入れるなど外国人生徒と一緒に授業・探究活動等を履修
- ・コミュニケーション能力を重視した外国語（複数外国語含む）の先進的な授業を実践 など





# 岡山県立和気閑谷高等学校

研究開発構想名：「恕」の精神を持って地域と協働する探究人の包括的育成



## 育む7つのチカラ

自分を理解する力 職業とつなぐ力 考える力 行動する力 コミュニケーション力 チームワーク力 自立する力

### 今できていること

- 探究学習「閑谷学」の枠組
- 主体的な学びの実現に向けたパフォーマンス課題とルーブリック評価に着手
- 地域と協働する基礎的システムの構築
- 地元自治体による地域連携コーディネーターの配置

### これからチャレンジしたいこと

- 探究学習の専門性・新規性のレベルアップ
- 長期ルーブリックの策定と教科横断的な学びの実現
- 地元企業や自治体と連携した長期実習やデュアルシステムの実現による明確な職業観の形成と地域を支える人材の育成
- コンソーシアムを核としたコミュニティ・スクール化による取組の継続性の確保

年次計画

2019 各教科等の長期ルーブリック策定とカリキュラム開発

2020 デュアルシステムカリキュラムの実践と検証

2021 各教科等の探究型カリキュラムの成果普及

主なKPI

- 長期ルーブリックに基づく習得状況
- 各教科等の探究的な単元のHP掲載本数
- 就業体験実習の受入を希望する地域の事業所数 等

### 各教科・科目

- 長期ルーブリックの策定
  - ・身につけるべき資質・能力と評価規準を共有化
- パフォーマンス課題の開発
  - ・各教科における探究的な単元・課題の開発
  - ・教科横断的な課題の研究
- デュアルシステムカリキュラムの開発
  - ・学校設定教科「地域協働探究」新設
  - ・学校外における学修の充実

大学教員などから指導を受けられる体制を構築

実社会での学びを重視

### 課題解決型探究学習「閑谷学」(総合的な探究の時間)

3年生(1単位) 卒業探究(個人)

- 進路分野の理想と現状を埋める
  - 分野別探究 → 卒業論文完成 → 発表会

2年生(2単位) テーマ別探究活動

- 世界と自分のつながりを感じる
  - SDGsの視点から和気町の課題解決を提案 → 提案を実践してみることでPDCAを確立 → 発表会

1年生(1単位) 探究基礎トレーニング

- 学校や地域と自分のつながりを感じる
  - 探究学習に必要な技法を学ぶ → 和気高、和気町をテーマに学習 → フィールドワーク → 発表会

学びを体現する場としての役割

### 課外活動

- ◆多様な主体による協働会議
- ◆放課後学習支援 ◆イングリッシュキャンプ
- ◆こくさいフォーラム in Wake
- ◆旧閑谷学校ボランティアガイド
- ◆学童保育ボランティア
- ◆論語・英語出前授業 ◆姉妹校交流 等

タブレット一人1台 (Society5.0に対応できるICTスキル)、多様な評価方法 (ルーブリック、ポートフォリオ、MSC)

県内先進実践校との連携・協力体制を構築 (成果抽出・県内外への発信等)

町長・町教育長を学校運営協議会委員としてコミュニティ・スクールに移行予定

各部会を置き、実効性のある運営体制を構築

### 魅力化推進協議会(コンソーシアム)

岡山県教委

旧閑谷学校

和気町・教委

和気商工会

同窓会

赤磐市・教委

赤磐商工会

PTA

備前市・教委

備前商工会議所

和気金融協議会

備前東商工会

県内大学

NPO和気元気プロジェクト

公民館

和気閑谷高校

校内体制

地域協働プロジェクト推進委員会を校務分掌化

連携

- 県外の大学・商工会議所・商工会
- 和気駅前商店会
- 岡山ESD推進協議会
- ASPnet (海外の姉妹校を含む)
- ASPUnivNet
- 地域・教育魅力化プラットフォーム
- 地域みらい留学推進協議会

### 小中高接続部会

- ・小中高生の協同実践のカリキュラム開発
- ・「教育のまち“和気”」構想との連携

### 産学官連携部会

- ・地域振興の担い手育成に向けた実践
- ・デュアルシステムカリキュラム開発

### 高大接続部会

- ・本校教育の質の向上への提言
- ・発展的な探究学習のカリキュラム開発

# 「ステージは『世界』だ!」～岡山発グローバルリーダーの育成～

岡山県立岡山城東高等学校

## 目標

- ① 自主的・自律的に課題解決に向かう態度
  - ・基盤となるリサーチスキルの学習
- ① グローバルな視野と郷土の理解を通じた地域貢献意識
  - ・フィールドワークを重視した課題研究
  - ・海外研修や異文化交流による多様性の理解

## 育成したい資質能力

創造的・批判的  
思考力

高度な  
英語運用能力

グローバルな視野  
と多様性の理解

自主的・自律的な  
行動力と社会貢献意識

## 課題研究

3  
年次

### GLOBAL III

(個人研究)  
**高度な課題研究**  
《3年生選択者》

- ・個人で研究
- ・論文作成  
(英語または日本語)

## 異文化理解

### 高度な英語運用能力

- 英語の授業改善
  - ・聞く力、話す力の重視
  - ・国際教養学類での先進的な取組
  - ・先進的取組の他の学類への普及
- 評価方法の研究  
スピーキングテストの実施によるパフォーマンス評価の研究

### 海外体験・国際交流

- 海外研修
  - 1年次：海外文化体験研修  
(カナダ、オーストラリア)
  - 2年次前半：学類研修  
(韓国、台湾、マレーシア)
  - 2年次後半：海外修学研修  
(イギリス)
- 海外姉妹校・提携校等訪問の受け入れ
- 留学の促進と外国人留学生の受け入れ
- 岡山大学の留学生との交流
- スカイプを活用した海外との交流

## 自主・自律を育成する取組

### 社会貢献活動

- 学類の専門を活かしたボランティアの実施
- ・小学生の学習支援ボランティア
- ・校外出演
- ・観光地での通訳ガイド
- アカデミック・インターンシップの推進

2  
年次

### GLOBAL II

(グループ研究)  
**本格的な課題研究**  
《2年生全員》

- ・「学類コア科目」(1単位)と「総合的な探究の時間」(1単位)が連動した学類の専門性を活かした探究活動
- ・フィールドワークを重視した実証的な研究

#### 人文社会学類

(主なテーマ)  
文学、歴史  
経済、法学  
国際、教育

#### 理数学類

(主なテーマ)  
自然科学  
環境  
科学技術

#### 国際教養学類

(主なテーマ)  
アジア研究  
国際理解  
異文化共生

#### 音楽学類

(主なテーマ)  
民族音楽  
伝統、宗教  
文化

1  
年次

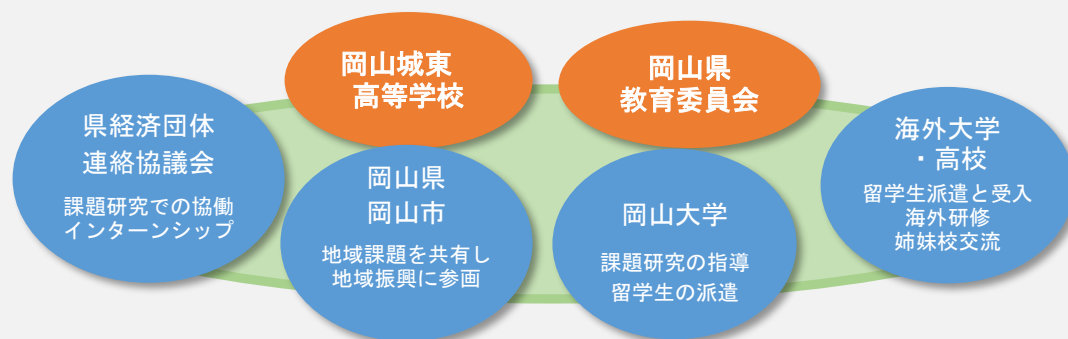
### GLOBAL I

(グループ研究)  
**スキル学習・課題研究**  
《1年生全員》

- ・教科横断的なリサーチスキルの学習
- ・県内企業訪問でグローバルな地域課題の学習
- ・SDGsの17のゴールを参考に課題研究の演習を実施

## 実施体制

岡山県内の関係機関と連携しながら、県全体をフィールドとして生徒が活動



## スーパーグローバルハイスクールの取組 (H26～H30)

### 成果

- ・課題研究でチーム力やプレゼンテーション能力を育成することができた。
- ・海外研修により英語によるコミュニケーション能力を十分に伸ばすことはできなかったが、異文化の理解を深めることはできた。
- ・課題研究に必要な資質・能力が明らかになり、思考力を養う授業や協同的で言語活動を重視した授業が各教科で行われるようになった。

### 課題

- ・探究課題の視点を世界へ向けることを重視してきたことで、それらを自分の課題として捉えにくく、表面的な理解にとどまる傾向があった。
- ・学類を越えてチームを編成することで、学類の専門性を活用する場面はあったが、研究を深めることが難しかった。
- ・課題研究で得られた知見を生かして、地域密着の取組は十分に見られなかった。



# 高校における地域学

## ～地域学～

各学校が実態に応じて、「総合的な学習（探究）の時間」「学校設定教科・科目」「課題研究」等において、「キャリア教育」「主権者教育」等と関連付け、地域の課題等を自らの課題として捉え、地域の人と関わりながら、主体的にそれらの解決に取り組む学習。

岡山県では、すべての高校が「地域学」に取り組んでいる。